「患者さんの療養生活を支えられる看護師を目指して」

櫻井　美恵子氏

在校　深谷大里看護専門学校
＊2 年課程通信制

介護士を 7 年、准看護師を 7 年経験し、一念発起して看護師を目指している櫻井美恵子氏。看護師を志すきっかけと、その原動力について伺います。

◎看護師を志した理由

介護士で 7 年ほど勤務をしていました。例えば摘便とか援助とかできないことが多くあり、それをもっときちんとするには看護師になったほうがいいなと思い看護師を目指しました。

准看護師として病棟で働いていると、看護師にどうしたらいいか？など色々質問をします。自分で判断ができないし、根拠も准看護師だと基礎しか教わらないし、自己判断で勝手な援助もできない。聞かなければ判断できない自分のなんか・・・切ないというか。患者さんに「これどうなんですかね？」とか聞かれても答えらない。

反面、看護師の判断力とか観察力がすごいなと感じました。自分も患者さんをケアするならわからないといけない、聞いてばかりじゃだめだし、根拠とかも知らないと、と強く思いました。

また、恥ずかしい話ですが、ネームプレートに看護師は看護師、准看護師は准看護師と表示してあります。家族が見ても「あ、准看護師なんですね」という視線があるんです。「看護師ではないんですね」みたいな。同じ仕事をしていても、たしかに勉強はそこまでしてないので仕方ないのかなとも思いましたし、気持ちの面で劣っていることはないと思うのですが、名前、というか肩書き、家族の視線は感じていました。

◎想像していた学生生活との違い

進学先を探したときに、3 年課程も視野に入れましたが、精神科病院の隣にある准看護学校が家から近かったため入学をしました。准看護師として 7 年、やっと今年 8 年目に入って深谷大里看護専門学校に入学できたという道のりです。深谷大里看護専門学校は、評判も良くて、自分としては選択肢がここしかありませんでした。現在も同じ病院から 4 人入学しているので、いろいろ話したりして心強いです。

しかし勉強は通信制のため、自己学習は甘えられたら甘えられるので「今日はいいや」が続くと、期日まで寝ないでやらなきゃいけなくなっちゃう。

仕事をフルで行っての勉強は大変です。実習などは通信の方が楽だと言われましたが、こんなに大変とは想像してなかった。ちょっと甘かったです。

◎仕事と学びの両立で苦労されたこと

毎日やらなきゃ、やらなきゃと思いながら、課題を机に出し向かうんですけど、文字を見ると疲れて眠くなっちゃいます。夜勤明けでファミレスなどでコーヒーを飲みながら、睡魔と闘いながら時間を作っています。

准看護師をとったときは自分のことだけに時間を使えたのですが、現在は親が認知症になったため、家事をしたり、何か一緒にやったり、勉強もしながらの毎日です。勉強をしなきゃと思いながらも、親の介護もあり日々すごい葛藤です。勉強をする気持ちだけじゃだめで、先生からもあとが大変になるから、やれる時にやったほうがいいよってアドバイスを頂くんですけど、なかなかできなくて。でも、今日はできるぞって時は、集中してやるようにしています。

◎どんな看護師になりたいですか？

患者さんから「あなたに言えば安心ね」って、言われる看護師になりたいです。病院で、様々な経験を積んでから、施設へ転職したいと思っています。

施設で勤務していた時に、看護師は診療の補助技術に重点を置いていたように思います。ですが、私が看護師になったら入浴介助においても皮膚の観察をして褥瘡にならないような援助をしたり、できる限りその人に寄り添ってあげたいです。介護士の時は、看護師に教わらないとわからなかったことも多くありました。しかし、学習したことで今はこういう看護をしたら良いとか、具体的な看護技術を学べているので、患者さんの療養生活を支えられる看護師になりたいなって思っています。

◎進学しようとしている人へ、メッセージ

今の勤務先にも進学を迷っている人はいっぱいいます。やりたいけど、やれるかなって。勉強と仕事の両立は本当に大変ですが、仕事をしていて観察するところや見方が変わっていきます。准看護師では気づけないことが、勉強することで気づける点が増えるので、自信を持って仕事ができます。そして気づけたことで、患者さんがよりよい方向に向かうのなら、いいことだと考えています。自分のためにも家族のためにも、患者さんのためにもなるので、大変だと思いますが、ぜひがんばってください。

お忙しい中、インタビューにご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

准看護師学校で学び、准看護師となった後、看護師になるためには、2年課程の看護学校（全日制・定時制・通信制）に進学する必要があります。

今回、インタビューにご協力いただいた皆様のご意見を参考に、ぜひ、看護師としての自己のキャリアプランを考えていただければ幸いです。

看護師職能委員会Ｉ